

長崎市長崎学研究所紀要『長崎学』第九号 目次

・目次

・論文

オランダ通詞菊谷米蔵・幡崎鼎

―シーボルト事件による波乱の人生― (その一)

東京大学史料編纂所共同研究員 イサベル・田中・ファンダーレン……………(3)

続々・長崎の鋳物師

―S f M／M V S技術を利用した梵鐘の考古学的研究―

長崎市長崎学研究所主事 田中 学……………(19)

・解題

マヌエル・デ・サー『諸神学者の著作から抜粋した聴罪司祭のための倫理提要』(長崎、一六〇三年)

慶應義塾大学教授 浅見 雅一……………(49)

・史料紹介

長崎市外海町開遺跡出土の鉄製武器

西海考古同人会 古門 雅高……………(63)

新発見絵画「ブロンホフの家族たちとビルマン夫人」のオランダ語書き入れについて	
長崎大学多文化社会学部助教 ルディ・トート	(71)
近江屋弥七郎家文書所収巨智部英三郎関係資料	
長崎市文化財課シーボルト記念館長 徳永 宏	(79)
・長崎市長崎学研究所活動報告	
令和六年度活動報告	(91)
・令和六年 長崎学関連書誌一覧	(96)
・おわりに	
長崎市長崎学研究所長 水田 光一	(102)
・英文タイトル	(105)
・奥 付	(106)